

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2010年
12月3日(金)
第15号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

7大臣へのはがき運動、アピールへの協力提起

「よりよい保育を！実行委員会」は、署名運動を現在推進していますが、新たに関係7大臣宛の要請はがき運動が提起されました。12月15日までに自治労連で集約し、17日の政府要請行動で提出する予定です。各単組にすでに降りていますので、署名と合わせ急ぎ取り組みを強めてください。

また「新システムに反対し保育をよくする会」のアピール運動に対する協力のお願いが来ています。取り組みの柱としては、①「新システム」に反対し、現行制度の改善による保育施策の充実を求めるアピールの賛同者を募り、関係機関に働きかけを行います。②新聞に意見広告を掲載するなど、多様な方法で意見表明を行います。③思想、信条の違いを乗り越えて、各地でアピールの趣旨に賛同する緩やかな会（ネットワーク）を結成し行動することを呼びかけます——というものです。東京自治労連からは来週に取り組みの文書を出します。

墨田保育自治研 生き生き子育てまつりに462名が参加

11月27日（土）第19回目の「生き生き子育てまつり」が墨田区職労主催で、保育園支部自治研実行委員会を中心に曳舟文化センターレクホール、和室を利用して行われました。

当日は、晴天に恵まれ、地域から331名の親子が参加し、職員の参加と合わせて、総勢462名の参加となり、大盛況の1日となりました。

大人気コーナーに開始早々から行列

自治研の当日は、毎年大人気の「缶バッチコーナー」が開始と共に列をつくっていました。「親子であそぶコーナー」では、亀釣りの縁日ごっこや、小麦粉粘土あそびで、親子で楽しむ様子がみられていました。的あて・ストラックアウトコーナーでは、素敵な景品をもらって大喜びの子ども達でした。

「お楽しみ劇場」は今年は2回公演で行いました。どちらの回も保育士の演じるパネルシアターや大型紙芝居、棒人形、ペープサートを親子で楽しみ、笑顔と拍手でいっぱいでした。「赤ちゃんコーナー」では、ベビーマッサージの体験や身長、体重測定をしました。「看護師コーナー」でも身長、体重、血圧測定をし、育児相談も行いました。「栄養士コーナー」では、非常勤の栄養士さん達が、「お野菜パズル」や「三色栄養別展示」で食べ物のことを楽しく知らせてくれました。「給食・用務コーナー」では、普段給食で出ているアレルギー用のパンの試食をしてもらいました。離乳食や給食レシピの配布も行いました。

出産をひかえた母親も来場

「公的保育コーナー」では、新システム反対署名コーナーを設け、新システムについての説明を行いながら、署名の協力をお願いして行きました。「保育園紹介コーナー」では、出産をひかえた女性の姿も見られ、各園の展示を熱心に見入る姿や保育園についての質問もあり、関心の強さを感じました。

昨年を上回る署名数 サル・ウシ・ウサギも大活躍

また、当日は、3回にわたり、街へ署名、宣伝にくりだしました。着ぐるみを着たり、風船の効果も十分にあり、今年は昨年を上回る326筆の署名を集めることができました。

「地域に根ざした保育園にしていきたい」「子育ての応援をしながら、地域のお父さん、お母さん達と手つなぎをしていきたい」という思いで19年間続けてきたこの子育てまつり。「とても楽し

かったです！」「今年も来ました！」と声もかけていただき、改めて＝11月、この曳舟文化センターで＝と定着してきているのが実感できました。これは、長年の保育士のパワーの賜物です。今後も、地域の子育て中の方々の声を当局にも伝え、もっと子育てしやすい墨田になる為の運動につなげていける自治研にしていく必要があります。

終了後に実行委員から、たくさんの意見をもらいました。今年は場所の変更がありましたが、大きな混乱はなく各コーナーで楽しむ様子がありました。公立保育園の良さや保育園の様子等の質問を受け、関心の強さも感じられるときもありました。当日は、非常勤栄養士・看護師・用調・保育士達の多くの力とパワーを感じました。6月から実行委員を中心に準備をし、検討を重ねた自治研を今後も続けていく意味があります。終了後に実行委員から出してもらった意見を生かし、検討し、来年度の子育てまつりにつなげていきたいと思ひます。

墨田区職労三役先頭に 署名宣伝をスカイツリー周辺で実施

これまで錦糸町駅北口を中心に行ってきた「子ども・子育て新システム」反対署名宣伝行動を建設中のスカイツリー周辺で実施しました。この日は、保育園支部の組合員だけでなく、田中委員長を筆頭に区職労執行部も多く参加し、全体で25名の参加で、天気も良く見物客で賑わうなか、風船も用意し署名への協力を訴えました。

約1時間の行動で署名は163筆集まりましたが、スカイツリーを見物に来た人たちが対象のため駅頭での行動と違い区内の人は少なく、墨田区以外の都民、関東近県の人たちからの署名が多かったのが特徴的でした。名古屋や岡山から見物に来た人の協力もあつたり、お孫さんを連れて見物に来た女性は、「娘が都内の私立保育園で保育士をしているが、補助金が減らされて大変らしい」と、積極的に協力してくれました。

足立区職労保育園分会 駅、うたごえ祭典、本庁舎前と署名宣伝行動

足立区職労・保育園分会は「子ども・子育て新システム」の危険なねらいを、広く区民・保護者、そして区職員に訴え、あわせて「保育制度の拡充を求める請願署名」（請願書）をひろげるため、区内の主要駅等での宣伝活動や、職員向けの宣伝活動に取り組んでいます。

10月31日（日）北千住駅頭宣伝行動、11月20日（土）西新井駅頭宣伝行動、28日（日）足立うたごえ祭典会場で署名行動、29日（月）区役所本庁舎前の早朝宣伝行動を実施。

駅頭での署名の呼びかけには、子ども連れの家族や、孫が保育園に入所していたというお年寄りなど、つぎつぎと署名に応じてくれました。また、この数年間では久しぶりに、保育園分会として区役所前で早朝のビラ配布・ハンドマイク宣伝を実施しましたが、チラシの受け取りなど職員の反応も比較的良く、区役所職員に間に署名を大きくひろげていこうと、決意も新たにしています。年内は乗降客の多い駅中心に、あと2回の宣伝行動を実施しようと計画しています。



【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、
「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを】